



「何のために読ませるか」～目的をもって読み取る授業実践アイディア～

教科書本文を読ませていると思いますが、本文を確認するだけの授業になっていませんか？「読むこと」の授業では、英文を一文ずつ理解するだけでなく、目的に応じて情報を読み取ることが大切です。



そもそも、目的をもって英文を読むってどういうことですか？

「必要な情報を読み取る」「文章全体の概要を捉える」「筆者が伝えたいこと(要点)を考える」ことです。

今回はこの視点から授業実践アイディアを紹介します。



①必要な情報を読み取る



学習指導要領の目標:「読むこと」(ア)

日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。【思考・判断・表現】

言語活動との関連:「読むこと」(イ)

広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから自分が必要とする情報を読み取る活動。

全国学力・学習状況調査でもこの形式の問題が出題されていたね。

<活動例>

- 日時などの基本情報や文章の内容についてお互いにクイズを作成して質問しあう。
- 教師が作成した誤情報を含む日本語のメモと英文の内容を比較して誤情報を探す。
- 英文の内容を表したイラストを教師が準備して、時系列に並び替える。
- メールの内容を受けて、次の行動を考えさせたり、メールへの返信を書く。



授業改善のポイント～該当する情報をマーカーで引いて探そう～

- ・求められている情報(時間・場所・登場人物など)を把握させることが解答への第一歩です。
- ・苦手意識のある生徒には、イラストやヒントカードを提示しながら必要な情報につながるキーワードを英文から探す活動から始めてみましょう。

※「個別」→「ペア」で意見交換、情報共有をする機会をもつことで言語活動につながります。

②概要を捉える



学習指導要領の目標:「読むこと」(イ)

日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。【思考・判断・表現】

言語活動との関連:「読むこと」(ウ)

簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。

<活動例>

- ①文章を読む目的(登場人物の行動や心情の変化等)を全体で確認する。
- ②段落ごとに本文を読みながら、適する場面イラストを選択肢から選ぶ。
【個別(→ペア)】
- ③イラストを選んだ根拠となる語句や文に線を引く。
【個別・協働】
- ④線を引いた語句や文を使って、イラストについて説明し合う。【個別・協働】
- ⑤段落ごとの内容を基に、物語全体のあらすじを考え、伝え合う。
【個別・協働】

本文の内容によっては、生徒に場面イラストを並び替えさせたり、場面に合ったイラストを生徒が考えて描いたりする活動も考えられます。

⑤で概要としてまとめた英文に、情報の不足や偏りがないように検討することもできます。

授業改善のポイント まとまった文章を読むことに慣れていない段階では、生徒の実態や本文の内容に合わせて段階的な活動を設けることで、初見の文章でも個別でも考えることができる手立てを作っていきましょう。

③筆者が伝えたいこと(要点)を考える

学習指導要領の目標:「読むこと」(ウ)

社会的な話題について短い文章の概要を捉える【思考・判断・表現】

言語活動との関連:「読むこと」(エ)

イラストや写真、図表などを参考にしながら要点を把握する活動。

説明文・記事

今回の活動例は中学2～3年生を想定していますが、生徒の実態に合わせて活動を実践してみましょう!



<活動例 1>【説明文(記事)の見出しマッチング】

(例) SDGsに関する短文を読んで適切な見出しを選ぶ

①提示された複数の見出しを読む【個別→ペア】

ア Food waste

イ Plastic Pollution

ウ Renewable energy

②本文を読む【個別(→ペア)】

③最も適切な見出しを選ぶ【個別・協働】

④根拠となる文を共有する【ペア(グループ)】

発展:本文の内容を要約する【個別・協働】

自分の言葉で伝え合う発展活動

<活動例 2>【筆者のメッセージを伝えよう】

①読前活動【教師⇄生徒→ペア】

写真や図、タイトルから本文に関する内容を予測する。

②概要把握【個別】

事前に示された質問をもとに概要を把握する。

(例) "What is the story (topic) about?"

③要点をつかむ【個別→ペア(一斉)】

筆者の**最も伝えたいこと**を文章中から探す。

(例) "What is the main idea of this story?"

④アウトプット活動【個別→ペア】

筆者のメッセージ(+自分の考え)をまとめ、ペアで伝え合う。

(例) "The writer wants us to ~."

"He (She) thinks ~."

発展 "I think ~ because~."

"We should ~ because~."

授業改善のポイント 授業の最初に身に付ける力を生徒と共有し、活動の目的と流れを見通しましょう。その後は個別と協働を組み合わせることで、主体的な学び(生徒視点)と個別指導(教師視点)につなげることができます。

伝え合う活動における表現例

「読む活動」や「話す活動」「書く活動」につなげる際にご活用ください。



【意見を言う】	I (don't) think that~ / In my opinion, ~ / I'm sure that~ I'd like to tell you about ~ / I suggest that we should~
【自分の考えに理由を加える】	I (don't) think that~ because~ / I think that it's important for me to ~
【例を挙げる】	For example, ~ / like ~ / such as ~
【時系列に情報を整理する】	First, ~ / Second, ~ / Third, ~ / Next, ~ / After that, ~ / Then, ~ Finally, ~ / At last, ~ / Before ~ / After ~ / Later, ~ / Soon, ~ As a result, ~ / So, ~
【要点をまとめる】	This story is about ~ / The main point is that~ The writer says that~ / The story says that~ The most important thing is that~ The writer wants us to ~ / According to the text, ~
【賛成する】【反対する】	I (don't) agree with you (this idea) because~

COMPASSの指し示す先へ ~COMPASSからつながろう! ~

学力向上通信「COMPASS」をお読みいただいた感想や実践してみた感想、今後取り上げてもらいたいテーマなど、ぜひ、御意見・御感想をお寄せください。「COMPASS」の先に見えてきたものを共有しませんか。

右の2次元コードからアクセスしてください。

